

2020年度くわな幼稚園/認定こども園くわな_学校関係者評価シート

教育目標	自然に親しみながら創造的に過ごすことのできる人間を育てる
重点目標	園児の活動に対する意欲を高めるために心情を受け止め、その延長線上の態度を育成する
重点課題	園児の創造性を高める活動の設定にあたり、各教員のさらなる創造性を発揮し得る職場環境を作る 園児の創造性を高めるとき、家庭を支える家族の理解と協力の在り方を精査し、進める。特に保護者のエゴと需要の違いを見極める 園児送迎時の安全を確保する一環として、スクールバスのより安全な運行をはかるための方策を練り、実施する

凡例
4=◎
3=○
2=△
1=x
0=x x

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
心情	保育者	指示ではなく理解を寄せる	3.75	・指示にならないよう、子どもの気持ちを汲み取りながら進めている。 ・子どもたちに聞いて、自分自身で考えられるように心がけている。	・子どもに自主性を養うように接してもらっている点は良いと思う。内と外ではうまく自分を出せない子どももこの時期いると思うので、子ども達が自信をつける事ができるように見守って頂きたい。 ・みんなと違うことをしても、それに気づき、認め、いいんだと寄り添ってくれている。 ・先生一人で何人もの園児をみななければいけない中で、子ども達の話に耳を傾け子ども達に伝わる言葉で伝えてもらっていると思う。
		子どもの言葉にうなづく	3.75	・子どもの目を見て相づちをうちながら会話をしている。 ・うなづく、返事、共感している。	
		子どもの言葉を聞き逃さない	3.75	・子どもの声にいつも耳を傾けるよう努めている。 ・1人ひとりの言葉を拾うようにしている。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
意欲	保育者	適切な教材などの環境を準備する	4.00	・月のねらいや季節・年齢に応じて自由に発想できるものを準備している。 ・教材の準備を前日に行うようにしている。	・成果と一緒に喜んでもらうことで子ども達の自信に繋がるのは良いと思う。小さいうちから季節の行事ごとや季節を感じられる遊びなど養って頂く事は大切だと思うのでこれからもそのような環境を準備して頂きたい。 ・季節にあった絵本や歌は他で目や耳にすることも多く、瞬時に気づいて反応し、春夏秋冬を感じ、興味を持つ機会がつかることができている。 ・季節ごとの製作や遊び等、なかなか家では取り組めないような体験が出来ており、とてもありがたい。
		言葉を拾って広げる	3.75	・興味が広がるように声をかけている。 ・できるだけ言葉を拾い、個々、集団、興味のある子どもたちと、どのように広げるか工夫している。	
		成果を喜ぶ	4.00	・小さな出来事であっても、子どもに伝わるよう一緒に喜ぶ。 ・同じ立場で喜ぶ。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
態度	保育者	動機の高まりを受け止める	3.75	・受け止めて、冷静に対応するよう心がけている。 ・楽しい気持ちに共感し、さらに子どもにとって良い方向へ行けるようにする。	・任せる事への達成度が4.00ということで課題に対する対応がしっかりなされているのだとわかった。子ども達にとって楽しいこと、興味のあることなど今後もより良い方向へ導いて欲しい。 ・一見問題が起きたと思う場面で、あえて先生がすぐに割って入らずほかの子どもからの声掛けで収まった。この時当人だけでなく周りの子どももどう動いたらいいか考える空気ができていた。解決の仕方を子ども達自身に任せ見守ることができている。 ・まだまだ幼い子ども達の気持ちをすべて受け止めて見守り任せることはとても大変だと思うが、先生方は十分やっていると思う。
		集中力の行方を見定め助長する	3.75	・集中している時は見守りながら進める。 ・集中が保てる時間を把握して、活動をするようにしている。	
		任せる	4.00	・子どもたちが自分で考えられるよう、細かく言いすぎず、子ども進め方に任せる。 ・本当に危険と感じた時のみ援助する。	

教員自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 保育の計画性	園の教育理念や教育方針を理解している	3.76	<ul style="list-style-type: none"> 園のカリキュラム、方針に従って保育するように努めている。 子どもの気持ち、言葉、興味のあるものを第一に考えて進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状でよい。 興味もあるものを聞き取り、保育ができています。 時間がない中でとてもよく考え行動されている。
	園の教育方針に共感している			
	園の方針、園長の考えについて園長や教職員と話し合っている			
	園のねらいにそった保育をしている			
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる			
	幼稚園教育要領を理解していると思う	3.47	<ul style="list-style-type: none"> ミーティング、学年会などで話し合う機会を週に一度行っている。 現在の子どもの姿を見るだけでなく、その先の子どもにどう育てほしいかを考え、周囲の職員と話す事で共通認識ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状でよい。 共通認識できている。 担当しているクラスだけでなく、ほかのクラスの子ども達の事もしっかり見てもらっている。
	幼稚園教育要領について、園長や教職員と話し合っている			
	幼稚園教育要領について、幼児の姿や環境の構成、教師のかかわりなど具体的な事例を想起できる			
	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神をふまえて園の教育理念・教育方針にしたがい編成している	3.68	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程をもとに月案、週案(学年会での話し合い)を立てている。 子どもたちが主体的に行動できるよう、職員は環境構成の見直しを常に行ったり、場面に応じた言葉がけを考えたりしている。 社会状況を考慮し、現在の子どもに必要な姿を考えたり、保育の見直しを行ったりしている。 園長や教職員で話し合い行事などを進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状でよい。 コロナで臨機応変な対応が必要な一年だったが、手洗い・アルコール除菌を地道に行い運動会も発表会も行うことが出来たのはとてもありがたい。 月ごと学年ごとにより計画を立てて進めてもらっている。コロナ禍でイレギュラーも多いと思うが臨機応変にして頂き有難い。
	園の教育課程を理解していると思う			
	園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている			
	園の教育課程は園長が中心となり、教職員と協力しあって編成している			
	園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている			
	園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	3.64	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画は子どもの様子に合わせて作成しており、子どもの興味関心にあつたものとなっている。 保育者が活動の先の発展まですべてを考えてしまうのではなく、子どもたちの言葉を生かせるように考慮している。 行事に追われるのではなく、行事が楽しめる様、子どもの興味題材に沿ったものを題材にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育の計画性の中で子どもの興味関心にあつたものを取り組んでいる事が随所にみられ強調されているが、その年齢の子ども達が学習すべき必要な保育内容が十分に組み込まれているのかは対応策からはわかりにくいと感じた。 今年はコロナ禍での対応を迫られたが、安全に行えたと感じる。遠足も天気に合わせ臨機応変に日程を変更し行うことができていた。行事の減少や簡素化が残念。 クラスや学年ごとに指導計画をしっかり立ててもらっていると感じる。行事やイベントが減っている状況でも、子ども達は毎日楽しんでくれている。
	指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している			
	指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している			
長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しをおこない、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成している				
短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものにしている				
指導計画は総合的な活動ができるように考慮し作成している				
幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している				
安全で清潔感のある環境構成をしている			<ul style="list-style-type: none"> 安全で清潔感のある環境構成はまだコロナ期なので、今後も特に取り組んでもらいたい。 子どもの遊びの幅が広がるような、のびのびと楽しく遊べるような環境の提案をこれからも是 	
指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている				
幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている				
幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をしている				
遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している				

5	<p>楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている</p> <p>幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている</p> <p>幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している</p> <p>幼児の発想を柔軟に取り入れて保育室の装飾や展示を考えている</p> <p>教師の願いや意図をもって環境構成をしている</p> <p>幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている</p> <p>季節の変化に応じた環境構成をしている</p> <p>異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている</p>	3.65	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が色々な素材や季節の物に触れられるように、部屋の雰囲気を変えている。 幼児が自ら活動に取り組めるよう、コーナー遊びを充実させるようにしている。 	<p>非お願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節を感じられる環境構成ができています。継続してほしい。 トイレなどの環境については、実際目にする機会がないのでわからないが、あまり行き届いていないような声も聴く。教室や廊下など装飾や子どもの興味を引きそうな掲示物を貼っていただき時間の少ない中でとてもありがたい。各クラスのコーナー遊びをほかのクラスも体験出来るようなイベントがあればもっと楽しめそうだと思う。(すでにやっている事でしたらすみません。)
6	<p>自分の保育と計画の評価・反省を、行うようにしている</p> <p>評価・反省は観点を定めて行っている</p> <p>自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている</p> <p>自分の保育を他の教師たちにも見てもらい、それをもとに検討している</p> <p>互いに保育をみせあって、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている</p>	3.49	<ul style="list-style-type: none"> 月案にその月の反省を書いたり、学年会でクラスの話や行事の反省を話し合うことで、評価や反省を行っている。 活動の後は反省、振り返り、次回どうしたら良いのかを考えるくせをつけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 在職年数や保育の経験値でも保育の質などが変わってくると思うので、各個人の評価・反省だけでなくフォローしあえる体制作りなどがあればよいと感じた。 ほかのクラスがしていることに刺激をもらいつつ、高めあってほしい。 日々時間の足りない中でとても良くやっていたらいいと思う。意欲の差や経験の差もあると思うが、あまり考えすぎなくても良い。
1	<p>朝の登園時は特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確認している</p> <p>体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い適宜、家庭へ連絡している</p> <p>けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけを行っている</p> <p>万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を行っている</p> <p>園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に観察している</p> <p>危険が予測される場合は、幼児達と一緒に見たり、考えたりなどして、安全な使い方や遊び方について気付くことができるようにしている</p> <p>クラスの中の水道付近の清掃や、換気、採光、室温などに気をつけている</p> <p>トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している</p>	3.88	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに声をかけ、様子や、体調不良にすぐ気づけるように気をつけている。 危険な遊びや箇所があれば、すぐに周知し、危険が起こらないようにしている。 トイレに行く際は正しい使い方をしていのか、付き添い確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝や夕の自由遊びの時間、わくわくの子どもが入り口付近で1人でのたまに見かけた。自由遊びの時間は目がいきとどいていのか心配だ。 園内の危険になる箇所は日々変化もあるので引き続きお願いしたい。 トイレなどは家で特に成長を感じられた。 朝行くと先生たちの声掛けはよく目にする。親としてみてくれているのだと安心する。 普段から子ども達をよく見守って下さっていることに感謝を述べたい。ただ、怪我が発生した場合、その状況を出来るだけ細かく保護者にして欲しい。出血を伴ったり痛みが激しい場合、子どもも親も心にトラウマが残ってしまうこともある。また、怪我を防ぐために、問題になる対象物に対してガードをするなど対策を講じて頂きたい。
2	<p>一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている</p> <p>幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている</p> <p>幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている</p> <p>見えないところで活動している幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することが出来る</p> <p>一人の幼児をじっくりとみながら、周囲にも目を配ることが出来る</p> <p>幼児のこれまでの姿、今の姿から、これからの活動のある程度予想することが出来る</p> <p>個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる</p> <p>幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる</p>	3.68	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の様子や変化を記録しておくことで、成長に気が付くことが出来るようにしている。 出来るだけ先を見通した関わりができるよう、その月齢にあった関わりをしている。 幼児同士の関わりを大切に、時には間に入り、言葉の代弁をするようにしている。 幼児一人ひとりを理解できるよう考え、今後どう育ててほしいのか見通しを持つことができるようにしている。 個々の幼児の発達を理解し、気になることがあれば職員同士で情報の共有をしています 	<ul style="list-style-type: none"> お迎えの際、担任の先生に会うといつも園の様子を良い面も悪い面も教えてくださった。子どもの話だけだと分からないことを先生から聞けてよかった。 給食を食べてなかった時や頭を打った時など報告をしっかりとしてくれた。 大人と話すのが苦手な子どももいる中、子どもを通してコミュニケーションをとったり柔らかい口調で話をしている、一人一人しっかりと見てもらっていると感心した。 子どもの気持ちを汲み取ってくれたと思う。 4月～3月の間に随分と成長して「4歳になって大きくなった」と自信がついた発言をしている。 少し変わった様子があった時は迎えに行ったときに教えて下さった。 インフルエンザなどが起きた今年度 様々な

II 保育のあり方、幼児への対応

<p>幼児たちがいま興味や関心を持っていることがわかる</p> <p>幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている</p> <p>幼児の理解のために保護者と話し合うことがある</p> <p>幼児の姿を、家庭での生活をふまえて理解している</p> <p>幼児の姿を多面的にとらえることができる</p>	<p>・幼児の姿で気になる事、いつもとは違う様子が見られた場合、保護者と話す機会をつくっている。</p> <p>・家庭で様子を聞くなどして、様々な面から幼児の姿を理解しようと努めている。</p>	<p>・とに配慮しながらの保育は大変であったと思う。しかし年度始めの長期休園、行事の中止や短縮、できないことが多かったからこそ通常の保育により重きを置くことが出来たのではないかと。子ども一人一人の心にもっとフォーカスし、声がけを行って頂きたい。</p>
<p>3</p> <p>幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線にたってもものを見つめたりしている</p> <p>幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる</p> <p>一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている</p> <p>幼児からのアイデアをくみとって遊びを深めている</p> <p>「先生のようにやってみたい」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心がけている</p> <p>教師らしい品位ある言葉、正しい日本語の用法を心がけている</p> <p>幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている</p> <p>善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でもモデルとなっている</p> <p>幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている</p> <p>幼児とのスキンシップをとるようにしている</p> <p>幼児一人ひとりのよさを認めるようにしている</p> <p>3.78</p> <p>幼児の話をよく聞くようにしている</p> <p>幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している</p> <p>幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をしている</p> <p>幼児が行き詰っている時に、適切な援助をしている</p> <p>幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている</p> <p>幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている</p> <p>禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている</p> <p>”一人ひとり”と”みんな”の関係を常に考えながらかかわっている</p> <p>幼児同士のトラブルに対し、両者の話を聞いている</p> <p>幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない</p> <p>幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている</p>	<p>・幼児一人ひとりとスキンシップをとり、たくさん関わるようにしている。</p> <p>・場合により禁止、行動を急がせてしまうことはあるが、自信を失わせる言葉や態度はしないようにしている。</p> <p>・幼児一人ひとりに寄り添って関わり、その子どもの個性を大切にしよう心がけている。</p> <p>・友達とのトラブルやケンカが生じた場合にはどうしたら伝わりやすいのか、どう言葉にしたら子どもの心に届くのか考えながら関わっている。</p> <p>・幼児の話に耳を傾ける中で、遊びがより発展していくことができるように、遊びの引き出しをたくさん用意するようにしている。</p> <p>・また幼児からのアイデアや意見を取り入れ遊びにつながるように年齢に応じた言葉がけをするよう心がけている。</p> <p>・幼児一人ひとりの良いところを伸ばすことができるよう発達に応じたかかわり方を大切にしている。</p> <p>・幼児のありのままの姿を受け止め、褒めることで幼児がより自分らしさを出していけるようにしている。</p> <p>・保育者としてどう関わるべきなのかを常に考え、スキンシップを取るようになっている。</p>	<p>・トラブルが発生した際、両者の話をきちんと聞き、それぞれの保護者にもしっかり説明をし解決して下さった。信頼している先生方に言われた言葉は子ども達にとっても印象的な言葉、出来事になるので、品位ある言葉遣いを心がけてほしい。</p> <p>・先生のことが好きなのが伝わってくるのでうまく接してくれている。</p> <p>・友達もでき思いやりもコミュニケーション能力も上がったと思う。</p> <p>・発表会の時に舞台袖で一生懸命踊っている先生の姿を見ました。同じ目線で寄り添いながら行動してくれていると思った。</p> <p>・様々な遊びを提供して下さっていること、一緒に遊んで下さっている様子は伝わっている。</p> <p>・家庭や友達にはしていない話や気持ちを先生には伝えられる子どももいる。心の拠り所となつて下さっていると感じている。</p>
<p>クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている</p> <p>クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換している</p> <p>幼児のことについて常に保育者同士の話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している</p> <p>教職員全員が、すべての幼児についてある程度理解しているようさまざまな工夫をしている</p>		<p>・バスに乗る先生や園で迎えてくれる先生が定期的に変わるのでもいろんな先生と交流ができ</p>

	<p>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特によく話し合い、共通理解をもって、対応するようにしている</p> <p>「認知」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「記憶」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「評価」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようなさまざまな工夫をしている</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちとかかわれるよう、さまざまな保育の形態を取り入れている</p>	<p>3.45</p> <p>・職員会やmeeting、学年会で気になることや、配慮が必要な子どもについて話し合っている。</p> <p>・あまり言葉が出ない子どもに対しては指差しで伝え、その子どもに分かるようにして伝えている。</p> <p>・「SI遊び」や「考えてみよう」という教材を使い子どもたちがしっかり話を聞き、個々で真剣に考え、活動を行っている。</p>	<p>良いと思う。SI遊びや考えてみようの写真からも子どもが生き生き取り組んでいるのが伝わってくるので、良い活動だと思う。</p> <p>・公開保育で先生の話に耳を傾け理解して実践している姿を目にできたので安心している。</p> <p>・子どもが年長さんの先生なのに「あの先生が好き」と話している。クラスに関係なく遊んだり、声掛けすることで子どもが先生に対して信頼していることがよくわかる。</p> <p>・学年全体の連携が取れてまとまりがある。担任という枠を超えて話やすい雰囲気作りがなされている為、どの先生であっても子ども達は安心感をもって接していたように見える。</p>
<p>III 教師として</p>	<p>1</p> <p>幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている</p> <p>より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している</p> <p>幼児の性格や個性を把握するよう努めている</p> <p>保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている</p> <p>仕事の手順をよく考え、能率よく行っている</p> <p>幼児が考え、感じていることがある程度予測できる</p> <p>保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている</p> <p>幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない</p> <p>幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにする</p> <p>朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている</p> <p>感謝の気持ちを言葉などで表わしている</p> <p>園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする</p> <p>服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている</p> <p>保育にふさわしい服装を身に付けている</p> <p>自らの健康に、十分に気を配っている</p> <p>爪の管理をしている</p> <p>子ども(担任外も)と保護者の顔や名前が一致する</p> <p>担任する、子どもの性格を把握している</p> <p>職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている</p> <p>幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない</p> <p>園の重要書類を無許可で持ち出していない</p> <p>教材、教具の管理、点検に気を配っている</p> <p>クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している</p> <p>現金は管理せず、事務所に預けている</p> <p>締切りのある仕事や提出物は締切日を守っている</p> <p>同僚や園の批判を軽はずみにしていない</p>	<p>3.77</p> <p>・研修などで様々な知識を得てそれを実行していくことでより楽しい保育ができるように進めた。</p> <p>・園内で都度ミーティングを行い、自己の保育を見直せるようにした。</p> <p>・子ども一人ひとりの性格を理解し、関わるようにしている。</p> <p>・迎えに来た時など保護者と会った時には子どもの様子を伝えコミュニケーションをとっている。</p> <p>・身だしなみを整え元気に子ども達と一緒に過ごしている。クラスの部屋、園内を清掃し、清潔を保っている。</p>	<p>・先生方はいつも明るく親しみやすい印象で接している。</p> <p>・感謝の言葉もよく言っていただきこちら側も感謝の気持ちが芽生え信頼関係の構築につながっている。</p> <p>・そうじもきちんとされており、気持ちよく通わせることができる。</p> <p>・健康管理もコロナ対策もしっかりしてもらっていると感じ子どもを安心して通わせることができた。</p> <p>・手洗い、うがい、アルコール消毒が上手になった。</p> <p>・先生たちがいつも笑っていて元気が良い姿は気持ちが良い。幼稚園に関しても清潔感や明るい雰囲気があることは大事だと思う。</p> <p>・問題なく取り組んで頂けているように思う。引き続きお願いしたい。</p>

の
資
質
や
能
力
、
良
識
、
適
正

<p>2</p>	<p>教職員全員でひとつのチームであることを意識している</p> <p>学年をまとめようと努力している</p> <p>「この先生はこの程度だから」と同僚の評価を固定していない</p> <p>会議や打ち合わせは時間を厳守している</p> <p>他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる</p> <p>自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している</p> <p>会議のときは自分の意見や質問を前もって考えている</p> <p>子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をしている</p> <p>係の仕事は確実にこなしている</p> <p>教職員と親しくつき合い、偏った人間関係を作っていない</p> <p>上司の指示、命令には責任を持って実行している</p> <p>上司や先輩に対しては敬語を用いて話している</p> <p>教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない</p> <p>園のことを、みだりに、他へ話してしていない</p> <p>主任、もしくは上司は、自分の利益より全体の利益を優先していると思える</p> <p>主任、もしくは上司を尊敬できる</p> <p>同僚の問いかけに無視することなく、答えている</p> <p>自分の思いや考えを他人に理解しやすいように伝える努力をしている</p>	<p>3.81</p>	<p>・1つのチームとして信頼関係を保って進めて行けるように話し合いの時間を設けたり、研修を行ったりしてコミュニケーションを大切にしている。</p> <p>・学年会や個々で心配な事や分からないことがある場合、伝えている。</p> <p>・先輩に対しては敬語を用いて話し、係の仕事は積極的に行動している。</p> <p>・休日には園での出来事、幼児の名前を外出先で話さないようにしている。</p> <p>・行事があると特に幼児たちにとって最高の日になれるよう日々の生活で優しく笑顔で接し、練習を行う際も共に頑張れるよう前向きな言葉掛けを行っている。</p> <p>・教職員同士で「頑張ろう」と声を掛けあい団結力が生まれている。</p>	<p>・行事の際、学年がひとつになるよう声掛けをしている姿がとても好印象だ。</p> <p>・先生方が係の仕事を着実にこなしているのだからと思う</p> <p>・バスに乗ってる先生から伝言をもらうことがありよくコミュニケーションをとってくれている。</p> <p>・年長の先生が「誕生会とても嬉しそうでしたよ」と教えてくれて視野の広い先生がいることに嬉しくなった。</p> <p>・先生たちが笑って話をしているのを見てると信頼関係が保たれているように思える。</p> <p>・連携がしっかり取れたチームであると保護者から見ても感じられる。引き続き協力しながらよりよい保育につなげていってほしい。</p>
<p>3</p>	<p>幼児と会話をしたり遊んだりするのが好きである</p> <p>幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる</p> <p>幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる</p> <p>幼児と一緒に生活を創りだすことが楽しい</p> <p>特に配慮を要する幼児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じる</p>	<p>3.87</p>	<p>・何かできるようになった時には、一緒に喜び合っている。</p> <p>・幼児の発想を取り入れ、保育をする時もある。</p> <p>・子どもの成長は嬉しく、喜びを感じている。</p> <p>・共感、対話を楽しんでいる。</p>	<p>・子ども一人ひとりのペースで成長させてくれていると思う。できたことをほめてもらい子どもはとても嬉しそうにしている。</p> <p>・子どももよく先生を見ている。</p> <p>・優しくしてもらい年少ではない先生の名前を憶えてきた。</p> <p>・成長を感じて伝えたら「先生も喜んでた」と教えてくれた。</p> <p>・担任の先生じゃない先生とも一緒に仲良く遊んでいる姿をみる。先生の一方的にいう姿ではなく考えさせている所を見かける事もあり、良い関係ができていくように思える。</p> <p>・どの先生も笑顔が多く、楽しく関わって下さっていると感じる。今後も一人一人の気持ちに寄り添って欲しい。</p>
<p>4</p>	<p>幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている</p> <p>幼稚園や幼児のことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある</p> <p>幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている</p> <p>自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている</p> <p>地域のことに興味がある</p>	<p>3.61</p>	<p>・周囲の出来事を知ることで保育につながることも多いので関心を持つようにしている。</p> <p>・様々な研修を行ったり調べたりして広い視野を持てるよう努めている。</p> <p>・地域のことに興味を寄せていけると良い。</p>	<p>・家でも「コロナ」や「3.11」の話を先生から教えてもらったと話をしてくれる。今後も様々なことを子ども達に伝えてほしい。</p> <p>・日頃から体調管理をされている仕事なのに、コロナで更に気を張ると思う。趣味が思うようにできなくて先生達がリフレッシュできているかと心配になる。</p> <p>・この辺りの地域は自然が豊かなので散歩に行き、生き物を捕まえたりすることで自然に興味を持つことができている。</p> <p>・知見を広げ、どんどん保育に生かして頂きたい。</p>
<p></p>	<p>クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりで知らせている</p> <p>欠席の場合は電話連絡をしている</p> <p>個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝えている</p> <p>保育参観や保護者会を開いて子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めている</p>	<p></p>	<p></p>	<p>・クラスだよりがない月がある。少なくともよいので毎月あると嬉しい。子どもも喜んで見ると思</p>

IV 保護者への対応	1	<p>場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、保護者と話し合ったりする</p> <p>いつでも個別懇談が行える体制であることを保護者に伝えている</p> <p>自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞いている</p> <p>「認知」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「記憶」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「評価」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>必要に応じて、ビデオ、写真、イラストなどさまざまな方法で分かりやすく伝える工夫をしている</p>	3.47	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの様子を連絡帳やおたよりで知らせている。 けがをした時など個々の連絡は電話で伝えている。 毎月クラスで何を活動したか、活動中にどんな出来事があったかクラスだよりに書いています。 公開保育では幼児が普段どんな過ごし方をしているかありのままの姿を保護者に見てもらったり、幼児同士のやり取りを見てもらったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人記録シートがある。安心できる。 新しいクラスになかなか慣れず泣きながら通っていた日々の様子を丁寧に伝え続けて下さり、とても安心できた。またバスに乗っている他のクラスの先生も園に着いてからの様子を知らせてくれたり、明日は泣かずにバスに乗れるように声を掛けてくれたり、子ども達の人数は多いが一人一人に目を向けてくれているのが伝わってきた。 子どもがけがをしたときに担任の先生ではない先生が消毒をして下さり、担任の先生は怪我のことを知らないということがあったので、先生達の中で報告はされてないと思ったことがあった。
	2	<p>保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視しないで、園長や主任、学年主任等に報告や相談をしている</p> <p>保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている</p> <p>保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている</p> <p>保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている</p>	3.84	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの意見、要望などは園全体で把握してみんなで答えを出すようにしている。 主任、学年に話し、その過程にあった対応をしている。必要に応じて園長も加わり、話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> できていると思う。 全く出来ていない。把握している先生と出来ていない先生がいて園長先生に話が通らない事が多い。 保護者からの意見が反映されたと思うことはなかった。意見に対して、そうなることへの説明もなく、保育者と保護者の間に溝ができていたように思う。お互い分かり合えるように説明をしっかりとほしかった。
	3	<p>保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている</p> <p>個々の子どもの情報は口外していない</p> <p>保護者、家庭の情報は口外していない</p>	3.93	<ul style="list-style-type: none"> 園の方針にしたがって個人情報を守っている。 都度声を掛け合い確認している。 重要な書類は園外に出していない。 氏名印を園外に出す際は学年主任と園長に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 園を信頼している。
	4	<p>「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない</p> <p>親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない</p> <p>電話は相手が見えないために誤解が生じやすい。手短かに、簡潔に要領よく、対話することを心がけている</p> <p>保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない</p> <p>長期の欠席や入院等の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている</p> <p>園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている</p> <p>保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している</p>	3.72	<ul style="list-style-type: none"> 保育者であることを自覚し、保護者と程よい距離で接している。 言葉遣いは子ども達が聞いているので丁寧に使うように心がけているが、「ら」抜き言葉は使ってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の方々が努力している。できていると思う。 友達同士のような話し方は先生によって、保護者・園児によって、差がある。 伝言等伝わらない事が多々ある。 先生によっては友達同士のようには接しているがそれは保育者と保護者との関係なので問題だとは思わない。 挨拶はどの先生もいつも丁寧にしてくれる。
	5	<p>保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している</p> <p>クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している</p>	3.75	<ul style="list-style-type: none"> どんなクレームでもまずは受け止めて、その後園長や職員の間で認知した後に園の考え方を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> できていると思う。 今年は特に保護者からの意見が多かったと思うので大変だったと思うが、係の先生や園長先生は良く考えてくれた。しかし、先生のその気持ちが保護者に伝わってなく、結果的に疑問が残ることになってしまったので、残念に思う。行事の中止をするにしても、その理由や一言などがあると違ったのではないかなと思う。
77	<p>地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている</p> <p>地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、ある程度理解している</p>		<ul style="list-style-type: none"> 地域との関わりを大切にし、よい関係が作れるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 例えば近くの会社などに社会見学ができればよいが、まだ幼いため難しいと思うので今のま 	

V 地域の自然や社会とのかかわり	1	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している 地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をしている	3.15	・地域の方にあいさつするようにはしているが、接する機会はあまりない。	・ま努力していただけたら良いかと思う。 ・地域との関わりは保護者には分からない。
	2	小学校の教育内容について理解しようとしている 卒園した子どもの情報を得るように努めている 地域の小学校の行事や公開授業に関心をもっている	2.98	・卒園時は小学校の先生と面談を行い情報を伝えるようにしている。 ・卒園した子どもが園に来てくれた時はたくさん話している。	・卒園前面談があることはとても良いことだと思う。続けてほしい。
	3	地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している 地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている	2.88	・地域のことについてはあまり理解できていない。 ・地域開放については話し合っていない。	・わかりかねる。
VI 研修と	1	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している 研修会や研究会に参加する場合は事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている 研修会や研究会では活発に発言している 専門書や専門雑誌を読んでいる 研究保育を参観するときは自分なりの課題と視点をもって観ている 自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている 自分の保育のあり方や悩みについて、他の教師や主任、園長と話し合っている 他園の見学をしたり、公開保育を観てみたりする機会をいつも探している	3.31	・研修の際はすばやく行動している。 ・事前に準備や、参加したことがある職員に話の内容や研修の仕方を聞いている。 ・学年で共有し合っていて良いところ悪いところを話すなどして改善できるようにしている。	・研修会や研究会はわかりかねるが、話し合いはされていて努力はされていると思う。
	2	子どものみとりと内面理解について研修・研究を行なっている 指導計画の作成や記録の取り方、考察のあり方に関する研修・研究を行なっている 環境構成・再構成のあり方について研修・研究を行なっている 指導とかかわりのあり方について研修・研究を行なっている 自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行なっている 確立された幼児観・保育観について客観的に見つめるための研修・研究を行なっている 保育者同士の協力・連携のあり方について研修・研究を行なっている 自らの得意分野を確立するための研修・研究を行なっている 良識・常識・義務・マナーなどに関する研修・研究を行なっている 保護者への対応のあり方について研修・研究を行なっている	3.30	・研修があれば参加し、知識を身に付けるようにしている。 ・日々、子どものあり方を研究し、保育者同士で協力し合いながら行っている。 ・研修を通して環境設定や年齢に合った遊びなど学んでいる。	・子ども達に良識など身につくよう努力してくれていると思っている。
	3	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方の研究をしている 園の遊具や教材についてさまざまな利用方法について研究している 園の遊具や教材について子どもはどんな使い方をするのかの研究をしている 園の遊具や教材についてどのような使い方が危険かの研究をしている	3.26	・遊具は正しい使い方を知り、子ども達に知らせている。 ・一つの遊具でもいろんな遊び方があることを伝え、遊びが発展するようにしている。 ・危険な所は事前に把握し子ども達に伝えている。	・出来ている。園での子どもの大きな怪我は耳にしていない。感謝している。
		園舎の構造(平屋、二階建て、三階建て)や保育室・遊戯室の位置・大きさなどが持つ特質が、幼児にとってどのような教育的な意味を持つかについて理解するための研究をしている			

研究	4	<p>園庭や農耕栽培地、砂場、通路、池、かくれ場所などの位置、広さなどが幼児にとってどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かす研究をしている</p> <p>園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かす研究をしている</p> <p>園内の環境を、いくつかのまとまりや関連性を持たせて保育の計画・実践に生かす研究をしている</p>	3.20	<ul style="list-style-type: none"> ・年少のアフメを入さくした。 ・水遊びが出来るように両音くんを置いた。 ・各学年で植物や野菜を育てている。 ・季節の変化に気づき接するようにしている。 ・あまり草花の名前を知らないので調べていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を感じられる環境をつくっていると思う。 ・散歩に出かけたり、道端の花や虫、いろいろな話を聞かせてもらいとても興味が持てた。家において「〇〇先生がこうやって言ってたよ」と教えてくれ、親も実感があつた。
	5	<p>子どもを取り巻くさまざまな状況が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりする研究をしている</p> <p>さまざまな変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、幼稚園としてはそれに対してどのような教育を行なわなければならないかについて考えたり学習したりしている</p> <p>クレームの対応についての勉強会をしている</p> <p>アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について研究している</p> <p>障害のある幼児に対処する保育のあり方を学習している</p> <p>預かり保育や子育て支援などのあり方・考え方について、学習している</p> <p>チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究している</p> <p>幼小連携について、その意義やあり方について研修・研究している</p> <p>危機管理について、現状やあり方について研修・研究している</p>	3.16	<ul style="list-style-type: none"> ・研修へ行き、どう対応すれば良いのか学ぶようにしている。 ・クレームについては報告書を書き、スタッフみんなに周知し、今後ないように勉強している。 ・園での子どもの様子、成長していく姿については、日々考え保育を実践しているが、園外の情報については少し遅れて知ることが多い。 ・新聞やTVニュースなどを見て自園に置き換え対応していけるようにする。 ・アレルギー、障害のある子どもについては市の支援センターと連携し、良い保育が出来るように努めている。 ・危機管理能力がつくように、一歩、二歩先のことを予想し、臨機応変に対応できるように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修はわかりかねるが保育、教育などは現場で習うのが一番かと思う。今年度はコロナの中、いろいろ課題や道標が見つかったような気がする。次年度生かせるよう期待している。 ・「新型コロナの影響で」という一言で行事はなくなり、それに対して穴を埋めるではないが、ほかに出来ることをするわけでもなく何もせずに過ぎていったのが残念に思う。こういう時だからこそ、臨機応変に対応できるようにしてほしい。 ・無くすばかりでは得られたものが無い。 ・クレームに対しても「面倒」と思わず、少しでも子どもを持つ親の立場に立って考えて欲しいと思った。
	6	<p>趣味・人とのかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている</p> <p>保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある</p> <p>尊敬する人の話はぜひ聞きたいと思っている</p> <p>いろいろな人と意見を交換し合いたいと思っている</p>	3.63	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事以外に楽しみ(趣味)を見つけ、潤いのある生活を心掛けている。 ・ストレスがたまらないように息抜きをしている。 ・いろいろな人の意見を聞き、自分の思いも口に出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まあまあできていると思われる。息抜きが苦手の方もいるかもしれないが、長く続けている先生を見本にプライベートと仕事のメリハリをつけてほしい。 ・コロナということもあり、たくさん子ども達を預かるという責任ある仕事をされている先生方は思うように息抜きが出来なかったのではないかと。無事に一年間を終えられることに感謝している。 ・今年は特に大変だったと思うが、愛情を持って接してくれたと思う。上手にストレス発散してほしい。

運転スタッフ自己評価

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 計 画 性	1	<p>園の教育理念や教育方針を理解している</p> <p>園のねらいにそった対応をしている</p> <p>幼稚園の名称(看板)を付けて運行することを意識している</p> <p>仕業点検を実施している</p>	3.67	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方のサポートに徹し、言葉掛けは挨拶や相づち程度にとどめているが、教育理念や方針についての詳細を再確認すべきと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・園児から見れば運転スタッフの方も幼稚園の人だと思ってくれるので、サポートに徹するだけでなく、幼稚園のスタッフならと考え、行動する方が園児とも先生方ともよりよい関係性が築けるのではないかと。
	2				
	3	<p>幼児に教育上不適切な言葉がけをしていない</p> <p>楽しい雰囲気の中で安定して過ごせる環境構成をサポートしている</p> <p>幼児の活動がより豊かになるように、言葉を添えている</p>	3.20	<ul style="list-style-type: none"> ・している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・バス内だけでなく、園の行事に年数回参加するなど園児たちと触れ合う場があれば、毎日の通園がより良い雰囲気になるのではないかと。

	4	自分の運転の評価・反省を自分自身で行っている	3.60	・行っている。	・できている。 ・運転の自己評価を、ほかの運転スタッフの方と共有すればさらなる改善に繋がると思う。
II 現場のあり方（対応と技術、運用）	1	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉がけを行っている	3.65	・バスの車内の清掃は毎朝出発前に行っている。 ・走行中も車内を確認し、例えば窓側でウトウトしている園児がいれば、窓ガラスで頭を打たないように先生に進言している。	・できている。 ・先生と運転スタッフの方の連携が一番の園児に対する危険回避になると思う。
		万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置をとるべく行動している、またはその心の準備がある			
		幼児にとっての危険の排除を意識して行っている			
		スクールバスの中の清掃や、換気、採光、温度に気をつけている			
	2	幼稚園勤務者らしい品位ある言葉、正しい言葉の用法を心がけている	3.40	・している。	・できている。 ・運転スタッフの方に対して、園児たちが明るく挨拶をしている風景を見た。運転スタッフの適切な対応があってこそ園児たちの反応だと思った。 ・運転手さんのことを信じている。
		幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしていない			
		善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でモデルとなっている			
	3	幼児の話をよく聞くようにしている	3.43	・毎朝子ども達に声を掛けをしてコミュニケーションをとり、楽しい通園になるように心がけている。	・できている。 ・くわな幼稚園でお世話になった上の子どもが幼稚園へ行くと、バスの運転手さんに声を掛けてもらうことがある。そんな時、いつでも笑顔で接して頂けるので嬉しく感じている。普段も園児たちと笑顔で楽しくコミュニケーションをとられているんだろうなと感じている。
		幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている			
		極端な禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度をとっていない			
		教師の援助に進んで取り組んでいる（行事における机、いす移動など）			
		教師の進める活動と無関係に子どもと遊んでいない			
		幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない			
	4	幼児の気持ちを不必要にあおっていない	3.53	・バス停にバスを停車させるときは圧迫感を持たれないよう十分に減速し低スピードにて進入している。又、発進時にもアイドリング状態でゆっくり発車するのを励行している。 ・運転士会にてデジタコ評価をもとに各々の欠点を探り、幼稚園の看板に恥じない運行に努めている。 ・バス停位置、経路等、やむを得ない状況により一般ドライバーから意見をいただくこともあるが、安全第一を最優先に道路交通法と園内ルールの順守に努め運行している。 ・中央自動車との連携及び日常点検の完全実施が、本年度、人身事故及び路上故障皆無に寄与していると考えます。 ・コロナ禍であることから車内の清掃、消毒、換気等、衛生面には気を配り、外気エアコンも併用し、感染予防に最新の注意を払っている。 ・バスの運転には特に気を配り、子ども達の安全に配慮している。	・できている。 ・運転に対する意見はない。事故がないのがその証拠、これからも安全運転でお願いしたい。 ・いつでも減速して丁寧に停車、発進して頂いて、安心している。
		指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で共通理解をもって、対応するようにしている			
バス停に停車時、園児以外の子どもの巻き込みを確認している					
バス停の停車位置の変更に当たっては上司や担当教諭と相談している					
バス停に、バスが到着時、扉を開けるための「よし」を教諭に伝えている					
左折時の左巻き込み、注意を払っている					
路肩走行をしていない					
雨天時、曇天時には適宜、ライトを点灯している					
路地の走行では、子ども等の飛び出しに留意している					
住宅地内の「とまれ」の標識のない交差点は最徐行、もしくは一旦停車している					
幼稚園正門に進入時、門が開いている場合は停止している					
幼稚園正門を出発時、担当者の出発合図を確認している					
幼稚園正門を出発時、門の閉鎖を確認してから発進している					
幼稚園出発にあたり、園児の乗車を補助している					
年度初めのバスコースの編成にあたり、提案している					
走行するうちに不都合と気付いた経路などを上司や担当教諭に提案している					
渋滞や工事回避などの臨機応変のコース変更を本部へ連絡している					
一日の終わりに、清掃を実施している					
一日の終わりに、外回りの点検を実施している					
ダイヤより安全を優先している					
スピード違反をしていない					

		黄色の信号で進んでいない			
		定刻に出発している			
Ⅲ 職員としての資質や能力、良識、適正	5	仕事の時間外でも幼稚園勤務者としての誇りと自覚を持った言動と行動を心がけている	3.52	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝バスの中を清掃し、窓拭きを行っている。 ・健康管理には十分注意している。不調であればすぐ病院に行き診察をしてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・コロナが満延している今の社会だからこそ、免疫力の無い園児達と多く触れ合う運転スタッフの方には、健康管理に徹底して頂きたい。 ・ねらい通り、いつでも心がけていただければいいかと思う。
		幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない			
		幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている			
		朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている			
		感謝の気持ちを言葉などで表わしている			
		園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている			
		服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている			
		運転職としてにふさわしい服装を身に付けている			
		自らの健康に、十分に気を配っている			
		爪の管理をしている			
		保護者の顔や名前が子どものそれと一致するよう心がけている			
		職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている			
		幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない			
		園の重要書類を無許可で持ち出していない			
		備え付け用具の管理、点検に気を配っている			
		バスの中はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している			
		現金は管理せず、事務所に預けている			
		6			
他の人の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べている					
自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している					
園内、車両内禁煙を励行している					
教職員や園の批判をしていない					
教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない					
園のことを、みだりに、他へ話してしていない					
7	3.40	幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・運転スタッフと言えど、同じくわな幼稚園スタッフとして、成長を喜んでくれることは、保護者にはとても嬉しく思える。 	
1	3.30	保護者との会話は「です」「ます」で行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な挨拶に心掛け、密接でも疎遠でもなく、適度な距離を持って笑顔で接するよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・対応が悪いと思ったことは一度もない。 	
		保育参観や懇談会は子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努める行事であることを理解している			
2	3.35	保護者からの相談ごとは、自分だけの判断で返答せず、ほかの職員や職員室に伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・保護者の協力が必要な場においても、保護者と運転スタッフだけでなく、先生方も含めた全員で連携を目指した方が良い。 	
		保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている			
		保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている			

IV 保護者への対応		保護者の協力が必要な場合は、上司と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている			
	3	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている	3.80	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の漏洩禁止、教育の徹底を語る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・個人情報は生活に大きく作用する重大情報な為、個人情報保護規約の元、書面などで徹底した漏洩対策を講じてほしい。
		個々の子どもの情報は口外していない			
		保護者、家庭の情報は口外していない			
	4	「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	3.56	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティーンとして各バス停では会釈をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・会釈してくれている。運転スタッフの立場上、それ以上の対応は必要ないと思う。
朝、バス停に近づくごとに会釈している					
保護者の国籍、思想、宗教または職業により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない					
自分の領域でない質問に無理に答えようとしていない					
5	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどして対応している	3.60	<ul style="list-style-type: none"> ・している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・幼稚園駐車場に駐車時、バスが駐車の妨げになったことはない。 	
	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、上司に連絡、報告、相談している				
V 地域とのかかわり	1	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている		<ul style="list-style-type: none"> ・通行させて頂いているという意識で送迎をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・地域の方との関係は、保護者としてもとても重要なものなので、適切な対応の元、運行して頂けると嬉しい。
	2	他の幼稚園、保育園のスクールバスに会釈をしている	3.70	<ul style="list-style-type: none"> ・している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・同じ立場だからこそ必要なマナーだと思う。
VI 研修と研究	1	自らの運転のマナーや方法について、自問している	3.68	<ul style="list-style-type: none"> ・一時停止の交差点では二段階停止を行っている。停止線のない交差点では最徐行を行い交差点では最徐行を行い確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・子どもの命を預かる大事な職務のため、停止線の無い交差点だけでなく、通常の交差点でも最徐行を心がけた方がよい。 ・ノッキング等の揺れは同乗者(子供)に負担が大きいため、運転スキルの向上も日々心掛けて頂けると嬉しい。 ・これからも安全運転でお願いしたい。
		速度の出しすぎに注意している			
		他の走行車両に迷惑にならないように配慮している			
		地元の生活道路を通行「させてもらっている」という認識を持っている			
		発進と停車をスムーズ行うべく、心がけと検証をしている			
		バス停で、バス出発時、園児の着席を確認している			
		停止線で停止している			
バス走行中に運行に必要な言動以外はしていない					
2	教諭との会話でパワーハラスメントととられる言動をしていない	3.80	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントについては相手方によるものの比重が高く、アレルギー、障害者への対応も含めて勉強不足が否めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・個人差があるデリケートな課題だと思う。 ・100%の正解は無い内容なので、ハラスメントにあたると思われる内容は先生方と共有した方がよい。「〇〇のような内容の会話はハラスメントにあたるか」等 	
	教諭との会話でセクシャルハラスメントととられる言動をしていない				
	朝の出発にあたり、教諭と朝の挨拶を交わしている				
	3	園の遊具や教材の使い方の危険性を理解している	3.60	<ul style="list-style-type: none"> ・している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・事故回避のため、遊具、教材使用上の危険性は定期的な講習等で確実な周知を図る必要がある
4	アレルギー、自立の遅れなどの問題について理解しようとしている	3.13	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理については、費用が掛かるので、理想と現実との乖離はまだ課題が残るところである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわからない。 ・確かに100%に近づけた危機管理は費用がかかると思われるが、費用をかけずに行える管理方法はあるはずだ。まずは現状行えるであろう方法をリストにまとめるなどしてはどうか。 	
	障害のある幼児に対処する保育のあり方に理解を寄せている				
	危機管理について、現状やあり方について研修・研究している				

行事を通して

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	-----	-----	-------	---------

入園式	保育者	幼児の行動を見守りながら適切な援助を行うようにする。	3.40	・子ども達が幼稚園という場が楽しいということを知ってもらえるよう笑顔で接した。 ・もう少し、子どもの目線に立つことが出来ると良かった。	・先生方が楽しんでいる様子がこちらにも伝わり、温かい雰囲気を作られていたと思う。 ・笑顔で接してくれて良かった。 ・初めての集団生活で不安が無いように子ども目線で笑顔で接してほしい。
	幼児	温かい触れ合いの中で、存在感、充実感を味わう。	3.50	・パペットを使って、声をかけることで、安心してもらえる雰囲気を作った。 ・名前を読んだり、声をかけたり、子どもが楽しく手遊びなど行えるようにした。	・園児の近くへ寄って声かけをされたり、離れている子ども達にも笑顔で目配りをされていて、不安を和らげるように接して頂いていた。 ・楽しい雰囲気は伝わっていたと思う。 ・毎年楽しい企画を考えてくれていて幼稚園が楽しい場所だと思えるようにしてくれている。
	保護者	幼稚園と共に幼児を育てるという意識を高める。	3.40	・聞かれた質問には、丁寧に答え、安心してもらえるようにした。 ・おむつや、トイレトレーニングについては、具体的な取り組み方を提示し、家庭と協力していきたいということを伝えた。	・先生方から声をかけていただいたり、こちらから質問がしやすい雰囲気を作っていた。 ・私も入園式の日には質問しましたが、担任の先生はとても丁寧に答えてくれて安心した。 ・おむつやトイレトレーニングを熱心にやってくれていて家庭でもできることを教えてくれて協力しやすくしてくれている。

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
始業式	保育者	進級の喜びや不安を受け止め、信頼関係を築く一歩であることを意識し一緒に遊び、一人ひとりの行動を見守りながら援助を行う。		・コロナウイルス感染拡大予防のため、行わない。	/
	幼児	新しい友達や先生と共に過ごすことの喜びを味わう。先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。			
	保護者	新しいクラス、先生を知り、信頼関係の基盤作りをしていく。			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
親子のつどい	保育者	・遊びを通して親子、友達、保護者間の関わりが深まるよう努める。 ・一人ひとりの幼児が、興味、欲求を十分に満足させられるよう環境を整え適切な援助を行う。		・コロナウイルス拡大感染の予防のため行わない。	/
	幼児	・先生や友達、保護者と共に過ごす喜びを味わう。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め愛情や信頼感をもつ。			
	保護者	・子どもたちと一緒に遊ぶ中で、保護者間や幼稚園との情報共有の場にしてもらい信頼関係を深める。			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
避難訓練1学期	保育者	・あわてず、安全を第一に子どもを避難させることが出来る。	3.60	・落ち着いて安心できるような、言葉を掛け「怖くないからね」「一緒にいるからね」などし、トイレや部屋で逃げ遅れていないかを確認した。	・事前に説明していただくなど安心して子ども達が避難できるように配慮していただいていたと思う。 ・子どもの安全を第一に落ち着いて逃げられるように訓練してくれている。怖がらずに逃げられるように子どもが安心できるように工夫してくれている。
	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 ・訓練ということを理解して、怖がらずに避難することが出来る。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することが出来る。 ・怖がらず階段を降りることが出来る。	3.50	・お、か、し、も、ちなどを知らせ、怖がらないように、事前にベルの大きい音が出ることなどを知らせ、子どもが安心して避難できるようにした。	

ねらい		課題・対応	評価委員の考察	
公開保育6月	保育者	・幼児の主体的な活動を促すために保育者は多様な関わりが必要であることを踏まえ、幼児の情緒の安定や発達に必要な豊かな経験が得られるよう、活動の場面に応じて適切な援助を行う。	・コロナウィルス感染拡大予防のため行わない。	/
	幼児	・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。自然などの身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。		
	保護者	・日々子ども達が関心のある出来事や様子、活動内容をあらゆる手段を考え、伝え、安心して園に子ども達を任せられるという環境づくりをする。		

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
プール遊び	保育者		・コロナウィルス感染拡大予防のため行わない。	・普段から子ども達は園ではノーマスクで過ごしているのでは。コロナ感染予防のためと一言だけの説明ではなく、もっと詳しい説明が欲しい。こういう点が難しいとか。
	幼児			

ねらい		達成度	課題	評価委員の考察
お泊り保育	保育者	3.70	・子ども達が笑顔で参加できるよう沢山コミュニケーションを取ったり、スキンシップをはかったりした。 ・何度も話し合い、シミュレーションをしたおかげで無理なく安全に取り組むことができた。	・先生方で何度も話し合っていたおかげで安全に行うことができて良かった。子ども達にとっても親にとっても、とても貴重な経験だと思う。 ・行事が中止が続く中、お泊り保育が出来たのは有難かった。ただ朝食のパンがコンビニの冷たいパンだったのが残念だった。 ・入園の頃から慢性疾患で薬を毎日飲まないといけないと言ってあったのにも関わらず、お泊り保育の時に薬を預かれないと当日に断るのは不信感でしかない。保護者としてしっかり話を事前準備してほしい。
	幼児	3.90	・ねらいを達成する為、自分のことは自分で取り組めるよう配慮した。又、困ったことがあればやり方を説明したり、少し援助をしたり、子どもがやる気になるようにした。周りの友達と互いに助け合う姿がみられた。 ・翌朝起きてすぐに「大きくなったね」「泊まることができたね」と声を掛けると、手の大きさを友達と見比べたり、「ほんとだ。〇〇君大きくなったね」など声掛けをしていた。	
	保護者	3.80	・不安な事(ケガ、薬)があれば電話などで詳しく聞き、不安をなくすようにした。 ・朝、帰る時心配されないよう、笑顔で対応するようにした。 ・帰りに一声掛けるようにした(元気に過ごして頂きました等)。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
新	保育者	3.60	・発達のポイントに留意しながら、個別に声をかけるなどして子どもの個々の様子を観察した。 ・少人数な事もありじっくり見ることは出来た。	

人園児面接	幼児	・幼稚園の雰囲気を感じる。遊びに参加することが出来る。	3.90	・ボール遊びはどの子どもも楽しく参加していた。 ・優しく子ども達の目線になって声がけすること、受けとめる言葉で接することで笑顔が見られた。	・良いと思う。 ・参加していないので分からないが、そのまま続けてほしい。
	保護者	・園に信頼を寄せられる	3.80	・緊張もあるので、笑顔で対応するなど心がけた。受け止める、共にという気持ちで声がけ、言葉には留意した。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
スポーツフェスタ	保育者	・皆で体を動かすことを楽しみ、達成感を持たせる。	3.80	・保育者自身が体を大きく動かし、表情をつけるように心がけた。また、子どもたちの様子を見て進めていき、出来たことを褒めるようにした。 ・子どもの言葉を拾って付箋などに良いこと、もっと頑張っていきたいことを記入し、日常的に子どもが見られるような表を作った。 ・練習風景の写真をとって子どもに見せたり、子どもと共に相談したりしながらふりかえりも行った。 ・子どもが楽しめるようになるものを作った。 ・子どもに分かりやすいような言葉で伝えるよう心がけた。	・コロナ禍の中開催していただけた事にとっても感謝している。 ・園庭での開催は子どもたちの様子を間近で見ることができ良かった。 ・今年度は学年ごとに幼稚園で運動会を行ったので保護者にとっては近くで写真やビデオが撮れてよかった。 ・「スポーツフェスタ」ではなく普通に「運動会」と呼べばいいのではないかと思う。 ・年長さんのクラスはもう少し+αがあってもいいのではと感じた。 ・一人だけでも親が行けたことは嬉しかった。 ・赤ちゃんを預けるとなると色々大変なので赤ちゃんはOKなど、もう少し融通をきかせた対応をしてほしい。抱っこしているのでそこまで問題があるのかと考えてしまう。
	幼児	・体を動かすことの嬉しさや楽しさを味わう。	4.00	・練習だけでなく、朝、帰りの時間に玉入れをしたり、日常的に行えるように普通の曲も使ったりした。 ・子どもたちが考えることを大切にし、どうしたら玉がたくさん入るのかを話し合った。 ・学年だけでなく、クラスで見せ合いっこをして楽しく進めるようにし、異年齢の表現などを見ることで刺激を受けた。	
	保護者	・集団との関わりを通して子どもの成長に接する。	3.80	・園庭なので、日常の様子そのままを間近で見せることができた。 ・エピソードや表現の表を貼ることでより子どもの様子やねらいを詳しく伝えられるようにした。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
公開保育11月	保育者	・幼児が自らその環境にかかわることにより、様々な活動を展開しつつ、必要な体験を得られるよう援助する。 ・幼児の活動する姿や発想を大切にし、環境が適切なものとなるよう準備する。	3.70	・子ども達の発想や意見を大切にし、クラスに広め、アイデアが出せるようにした。 ・活動の中で子ども達がどう過ごせるか、身につく力は何か、友達との関わりなどはあるのか考えた。 ・子ども達のアイデアにプラスで工夫を加えたり予測される材料などは準備し、より活動が楽しめるようにした。	・クラスの友達との関わりや成長を見ることが出来て良かった。教室の中も普段の子どもたちの様子を写真などでわかりやすく掲示してあり、日々の園での姿が伝わった。 ・一学期はほとんど幼稚園に行けずハイチーズなどで公開されている写真でしか幼稚園の様子が分からなかったため写真を撮ってくれているのはありがたいことだと思った。 ・久しぶりに園での様子が見られて良かった。 ・以前は外の散歩で見つけた植物や生き物について図鑑等を使ってどこに住んでいる・何を食べる等の勉強もしてくれていたが、最近はやってくれる機会が少ない。
	幼児	・自然などの身近な事象に関心を持ち取り入れて遊ぶ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	3.60	・活動中での言葉を書き出したり、一緒に声を出したりしてなりきって楽しんだ。 ・子どもたちが言葉でやり取りできるように表をつくり、子どもが実際に遊んでいる写真なども用意した。	
	保護者	・情報交換の機会であることを踏まえ幼児教育に関する理解が深まるよう活動内容を伝えていく。	3.50	・子どもの様子や行ってきた活動、その中での子どもの一言などを紙にできるだけ詳しくまとめることで、日々の姿が伝わるようにした。 ・一学期の様子をつたえる機会がなかったので詳しく伝えるようにした。また個々で話せる保護者には自分から声をかけるよう心がけた。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
交通安全	保育者	・交通ルールを知り、守ろうとする気持ちを持つことができる。 ・おまわりさんの話を聞くことができる。	3.90	・横断歩道や信号のない所で渡り方を実際にやってみることで、体で覚えることが出来た。	・交通ルールを覚える、体感する機会は大変ありがたい。年長だけでなく他学年も体験出来るが良い。

全指導	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり安全に気をつけて行動する。	3.90	・年長児の姿を見て他の学年も、手を挙げる真似する子どももいてしっかり座って話を聞く事が出来た。 ・交通ルールに対して意識が高まり、守っていける約束をした。	・交通ルールを学ぶことで安全に行動すること、ルールを守ることを覚えられて良いと思う。
-----	----	--	------	--	--

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
避難訓練2学期	保育者	・慌てず、安全を第一に子どもを非難させることが出来る。	3.90	・訓練ということを伝え、落ち着いて参加できるようにした。 ・口をおさえることや、先生よりは先に行かないことを約束して参加した。	・いつくるかわからない災害に備えて子ども達に理解しやすいように避難方法を教えてもらえて助かる。 ・自宅では口答になってしまいがちな緊急避難を何度も訓練して頂けて有難い。
	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。訓練ということを理解して、怖がらずに避難することが出来る。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することが出来る。怖がらず階段を降りることが出来る。	3.90	・どんな風に非難するか、分かりやすい言葉や行動で説明をした。 ・消防車への興味、わくわくする気持ちを子どもと共有できるよう心がけた。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
クリスマス会	保育者	・クリスマスの楽しい雰囲気を作り、夢をもたせる。	4.00	・クリスマスまでに絵本を読んだり、うたを歌ったり、サンタポストを設置して、サンタやクリスマスに夢や期待がもてるようにした。	・家では出来ないクリスマス会をして頂き嬉しく思う。サンタさんへの夢が広がる。クリスマスはプレゼントをもらえるだけと思わなくなった。 ・夢があって楽しい会を催して頂けて有難い。
	幼児	・絵本や物語などに親しみ、興味を持って想像する楽しさを味わう。	3.90	・絵本では、自分の思っているサンタ、クリスマスの思いや考えを言葉にして、想像して楽しんだり、個々で手紙にメッセージや絵や質問を書いたり興味関心で溢れている様子だった。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
学習発表会	保育者	・幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動出来るようにする。 ・発表会をみんなで一緒にする達成感を体験させる。	3.90	・子ども達が好きだった遊びを表現の中に取り入れた。子ども達と一緒に考えたり聞いてみたりすることで主体的に活動できるようにした。 ・子ども達の想像を表現するための援助や声掛けができるよう、さらに子ども達の声を聞くことが出来ると良かった。	・コロナ対策がしっかりされていた。 ・毎日練習を家でする姿を見て子どもの成長を感じた。 ・発表会後も役を変えて発表会ごっこをしていて終わった後も楽しんでいる姿を見られて嬉しかった。 ・発表会后、例年と比べて保護者と幼稚園の間で思いの違いが大きく出てしまった。 ・年長児の保護者は子どもの成長を喜び全体をみる心が必要なのかと思う。 ・この2.3年でおたよりも少なくなり幼稚園での様子がわからないので発表会だけでも幼稚園からの発信があると保護者のもつ不安が和らぐかもしれない。 ・子ども達の主体性を重視され全て手作りの表現は大変な作業だと拝察する。子どもたちがいきいきとした表現で舞台に立つ姿に感動しつつ、一年の成長を感じる事が出来る。
	幼児	・感じたこと、考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 ・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	3.90	・絵本や写真を見てイメージが膨らむようにした。 ・小道具やパネルなど子ども達と一緒に作り、子ども達のアイデアを取り入れた。	
	保護者に対するねらい	・一年の集大成として子どもの成長を目の当たりにすることで親の成長を助長する。	3.80	・日頃から練習に取り組む姿を伝え、本番だけではない過程を感じてもらえた。 ・おたよりで伝え、思いを共有した。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
-----	--	-----	-------	---------

お別れ会	保育者	もうすぐ年長児やクラスの友達とのお別れということを知らせ、みんなで過ごす時間を楽しませる。	3.90	<ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ年長児は小学校へ行くという事を知らせ、「たくさん遊ぼうね」と声を掛けた。 ・子ども達がお別れ会がどういうものか分かることが出来るように、言葉と動作で伝えた。 ・今いる友達と過ごした日々を思い出しながら楽しく過ごせるように接した。 ・お別れ会だけでなく進級の喜びや期待も持てるよう声を掛けた。 ・小学校へ行っても幼稚園での楽しい思い出を忘れないよう全力で役になりきり、保育者がまず楽しむようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児は友達との思い出を楽しみながら思い出せた。 ・小学校へ行く前に友達へ感謝を伝える場となった。 ・次のステップに進むにあたり、これからに希望や期待が抱けるイベントは続けて頂けて有難い。
	幼児	お別れ会に楽しく参加する。別れだけでなく成長を感じる。	4.00	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の催しをして持ち物や生活などを知り、期待を抱いていた様子だった。 ・一年間過ごした大切な仲間であることを伝え、感謝の気持ちが持てるよう話した。 ・子どもが知っているストーリーや曲を選んだり、テンポが取りやすいように手拍子をしたりした。 	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
卒園式	保育者			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも変わらず卒園式が出来てよかった。コロナウィルスが落ちついて全員で卒園式出来る日が来ることを願う。 ・いつか全員で式が出来るとなればよいと思う。
	幼児			
	保護者			

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
外の活動 一学期	保育者	3.30	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の遊びに保育者も参加し、一緒に楽しむことで、遊びの発展につなげた。 ・遊びに迷っている子どもには、遊びを紹介したり、保育者が参加している遊びに誘ったりした。 ・ごっこ遊びでは、お店屋さんの想像がしやすいように、メニュー表を作った。役割が出来て、会話が成り立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期と比べ工夫して遊べるようになっていた。家でも外の活動の延長で色々と遊ぶようになった。
	幼児	3.50	<ul style="list-style-type: none"> ・片付けの際に、クラスにすぐに戻ってしまう子どもが多いた為、褒めたりお願いしたり子どもに任せすぎないようにした。 ・遊びが発展していくよう、子どもの言葉を取り上げたり、きっかけを作ったりするようにした。 	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
二、外の活 三、活	保育者			<ul style="list-style-type: none"> ・一学期と比べ工夫して遊べるようになっていた。家でも外の活動の延長で色々と遊ぶようになった。 ・家族で出かける公園も幼稚園の先生や友達と

<p>学期 行動</p>	<p>幼児</p>	<p>(わく・年少)自分の力で行動することの充実感を味わう。 (年中・年長)身近な物や器具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。</p>		<p>一緒にだと全く違う楽しみがあるようだ。園庭では伸び伸びとして活動をされていて有難い。</p>
------------------	-----------	---	--	---

・園の雰囲気は年々改善され、教育の充実に努められ子ども一人一人に丁寧な保育に繋がっていることを実感している。園長先生をはじめ、先生方、バスの運転手さんもいつも笑顔で子ども達、保護者の方に対応されていて素晴らしい。

・一年間ありがとうございました。コロナ禍で常に対策をして一つ一つの行事等を考えなければならぬ一年でしたが、子どもの思いを大切にしながら、対策もして進めていかれる先生方の計り知れない努力には頭が下がる思いだった。発表会では近くで子どもの成長した姿を見させて頂き感動した。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

・子どもの意見を取り入れた活動をしてくれる。
・何か行事をなくす時など説明が一方的。例えば雪遊び等。それが魅力だと感じ入園した方もみえるので今回だけとかではなく来年以降もなくす場合にはきちんとした理由の説明等を行い、保護者の納得を得る形にしてほしい。
・発表会の受付はクラス単位の方がよいのではと感じた。(今年、受付にかなり時間がかかっていたので)

・他の幼稚園もコロナについては同じだと思うが、対策して色々行っている。比較するわけではないが、正直少しがっかりしてしまう部分もある。

・夏祭り・雪遊び・他いろんな行事がなくなった。コロナで預かりの人数も減ったと思う。その分、普段の活動の内容をもう少し+αがあってもいいのではないかな。

・子ども達、保護者の話に真剣に向き合ってくれる先生もいて感謝。その反面、子ども達に対する言葉選びをきちんとしてほしいと思う先生もいる。

・全体を通して園側には説明をきちんとしてほしい等の意見があり、特にコロナだからという理由だけではなく、もっときちんと説明をして欲しい。

・卒園アルバムも1ページ集合写真だけで親からのコメントなしだったのはなぜでしょう？

・発表会・年長のスライドが無かったのは残念だった。

・子ども達が楽しく過ごせた事に感謝している。お世話になり本当にありがとうございました。

・運転手さんとは直接お話することがほとんどなく、また私がバスにも乗っていないので、今回出されている内容のほとんどがねらい通りになって頂いているかどうか評価しにくいですが、そのようにして頂いていると信じている。これからも特に健康管理と安全運転をお願いしたい。

・途中からピンクのバスが無くなったのが残念に思います。もう戻ってこないのだろうか。

・オレンジコースの保護者の方より、予定の時刻より15分程早くくることがあると少し怪訝そうに話されている方がいた。

・バスを利用しているうちの方から、バスに乗っていてこんな嫌なことがあったという話は一度もなかったのも、園児たちは安心してバスに乗っている。